

名前：石岡 里穂 (いしおか りほ)
 配属先：黒石基幹支店
 出身地：藤崎町
 好きな農産物：トマト
 尊敬している人物とその理由：家族 (毎日頑張っているから)

津軽みらいの
若い千カラ
 ～ 職員紹介 ～



■ J A で働いた感想は？

想像していたよりもお客さまとの距離が近いなと思いました。お客さまのお話を聞くのが一つの楽しみになっています。

■ 仕事をする上で心掛ける事はありますか。

どんな状況でも焦らないで、落ち着いて行動することを心がけています。

■ 休日の過ごし方又は趣味・特技を教えてください。

休日は友達と遊びに行くか、愛犬と過ごすことが多いです。

■ 理想の職員像はありますか。

いつも笑顔を忘れないで、来店されたお客さま皆さまを安心させる職員になりたいです。

読者の声

一か月遅れで野菜苗を植えてみました。病気や害虫に負けないでねと願って水をやっている毎日です。
 (田舎館村 K・H 65歳)
 ⑧ 自分で育てると愛着がわきますよね。立派な野菜になるといいですね。

小学1年の孫が「今日さつまいも植えたよ」と教えてくれた。「子どもたちの農作業体験」のことである。土に親しむことが少なくなり、「いも」が土の中で育つことを知らない子どもが増えている昨今、土に親しむことの楽しさを知するためにも農協のこの事業は大切だと思う。
 (藤崎町 I・H 82歳)
 ⑧ スーパーで売られている状態しか知らない子どもたちはかわいそうだと思います。「農」を通じて、食べる喜びや生きる喜びなどをさまざまなことを感じてもらいたいです。

農協まつり楽しみにしています。ワールドカップを見て寝不足気味です。後期高齢者と自覚して体調管理を十分気を付けないと。
 (平川市 O・T 75歳)
 ⑧ ワールドカップでは日本頑張りましたね。選手の皆さんお疲れ様でした。体調管理に気を付けて農協まつりを楽しんでくださいね。

農協が発展することを祈ります。そのためには農家がしっかりと生活できるような地域であってほしいと思います。
 (板柳町 N・S 79歳)
 ⑧ 地域を支えて盛り上げるため、役職員一同頑張っていきます。

春から一生懸命に頑張ってきたりんごに黒星がいっぱい。涙が出てきそうです。
 (平川市 A・H 63歳)
 ⑧ 大きくなった実についていると落胆しますよね。黒星病を増やさないために、黒星病が付いた実は園地に残さないなど出来ることをみんなでやりましょう。黒星病に負けるな!

東京から遊びに来た姉が J A 津軽みらいの広報誌を見て、「合併10周年にもなるの?」と聞いてきたので、年に1回くらいしか遊びに来ない姉がどうして詳しく覚えているのだろうと私の方がびっくりしました。
 (板柳町 Y・M 65歳)
 ⑧ よく見てくれたんですね。ちなみに広報誌6月号では貯金キャンペーンのところと読者の声のところと10周年を謳っておりました。

農業後継者不足!もっとも問題となる本県の現状です。しかし、若者パワーは確実にこのことを乗り越えていくことでしょ。
 (平川市 S・Y 66歳)
 ⑧ いろんな若手生産者取材していますが、皆さんすごいパワーです。「私たちがやらねば!」という強い信念も感じます。

公太郎はミニ四駆が大好きでした。駆け出す馬力は半端ないと思います。
 (板柳町 I・Y 63歳)
 ⑧ これからますます期待されます。りんご栽培の達人への道のりを駆け抜けてほしいですね。

6月号で募集した「10年」をご紹介します

10年前は元気に農作業に従事していました。今は細々と農業に従事しています。10年後は寝たきりにならずに元気に世の中を見ていたい。(平川市 A・H 84歳)

怪我をしたり、嬉しいこと、悲しいこといろいろあった10年でしたが、今笑顔でいられることがなによりです。10年後も変わらずそうであってほしいです。
 (黒石市 M・M 58歳)

10年ってあっという間でした。でもあと10年生きられるかなあと思うこの頃。
 (平川市 M・S 91歳)

さまざまな10年があったようですね。J A 津軽みらいになって10年。あっという間に年月が過ぎるんですね。これからの J A 津軽みらいにも期待して下さい!
 今月のテーマ「夏」。思い出の夏や楽しみにしている祭り、おいしい夏野菜の食べ方などお待ちしております。